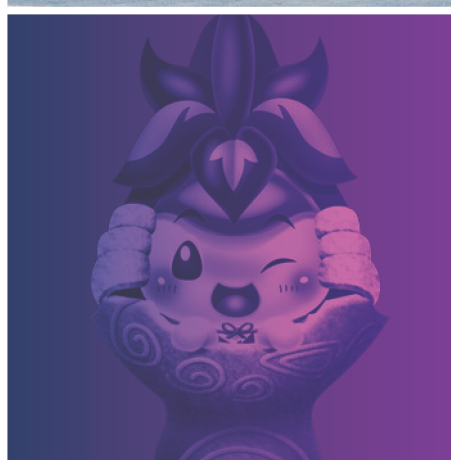




刈谷市

平成 31 年度 予算のあらまし



平成 31 年 3 月に刈谷市歴史博物館が開館しました。刈谷の歴史に親しみ、学ぶことができる拠点として、常設展示室や企画展示室のほか、所蔵の資料や図書を閲覧することができる資料閲覧室などを備えています。

「元気で幸せ」を実感できる まちづくりを目指して

刈谷市長

竹中 良則

Yoshinori Takenaka

わが国の経済は、就業数の増加、賃上げなど雇用・所得環境の改善が続き、消費・投資が拡大される「経済の好循環」が着実に回りつつあり、今後、この経済の回復基調が持続されることが期待されております。本市財政におきましては、各企業の業績好調を背景に市税収入の増加を見込んでおりますが、引き続き、効率的で効果的な行政経営及び健全な財政運営の維持に努めてまいります。

こうした中、平成31年度予算は、市民の皆様が“元気で幸せ”を実感できるまちづくりに向けて、市民生活の安心安全を確保する施策に重点を置きながら、就学前の子どもへの教育及び保育を一体的に行う体制整備や地域包括ケア体制の更なる充実など、子どもから高齢者まで幅広い世代が元気に活躍できるための施策を推進してまいります。

また、刈谷スマートインターチェンジの設置や刈谷駅周辺の整備を進めるなど、まちの魅力と風格を一層高めることで、市民の皆様にあいさつされ、誇りに思ってもらえるまちであり続けられるよう全力で取り組んでまいります。

この冊子は、本市の各種施策や財政状況をわかりやすくまとめたものですので、活用していただければ幸いです。



目次

予算の規模	1	計画推進分野	11
当初予算額・市税の推移（一般会計）	1	主な財政指標の推移	11
一般会計の状況	2	基金の状況	12
都市環境分野	4	市債の状況	12
教育文化分野	6	市民1人当たりの予算額（用途別）	13
福祉安全分野	8	刈谷市の家計簿	13
産業振興分野	10		

予算の規模

一般会計の平成31年度当初予算額は581億円で、小学校の空調設備設置及び歴史博物館建設の完了などにより前年度当初予算額と比較して3.0%の減となりますが、過去2番目の予算規模となります。

土地区画整理事業、国民健康保険など特別会計は239億9,511万6千円で、前年度と比較して4.8%の増、水道事業及び下水道事業の各企業会計は99億1,856万1千円で、前年度と比較して2.5%の減です。

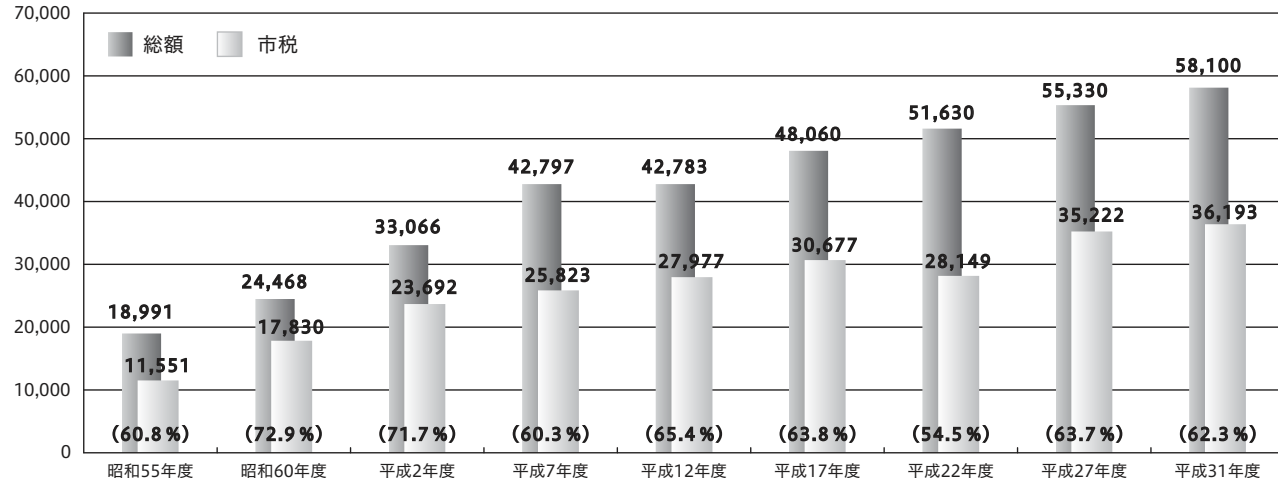
一般会計、特別会計及び企業会計の総合計は920億1,367万7千円となり、前年度と比較して1.0%の減となります。

(単位：千円、%)

会計名	平成31年度 当初予算額	平成30年度 当初予算額	前年度比	
			差引	伸率
一般会計	58,100,000	59,910,000	△1,810,000	△3.0
特別会計	23,995,116	22,906,695	1,088,421	4.8
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	1,249,745	743,765	505,980	68.0
刈谷野田北部土地区画整理事業会計	120,342	107,599	12,743	11.8
国民健康保険会計	11,956,661	12,013,819	△57,158	△0.5
後期高齢者医療会計	1,904,910	1,811,926	92,984	5.1
介護保険会計	8,763,458	8,229,586	533,872	6.5
企業会計	9,918,561	10,169,175	△250,614	△2.5
水道事業会計	3,886,674	3,917,556	△30,882	△0.8
下水道事業会計	6,031,887	6,251,619	△219,732	△3.5
合計	92,013,677	92,985,870	△972,193	△1.0

当初予算額・市税の推移（一般会計）

(百万円)



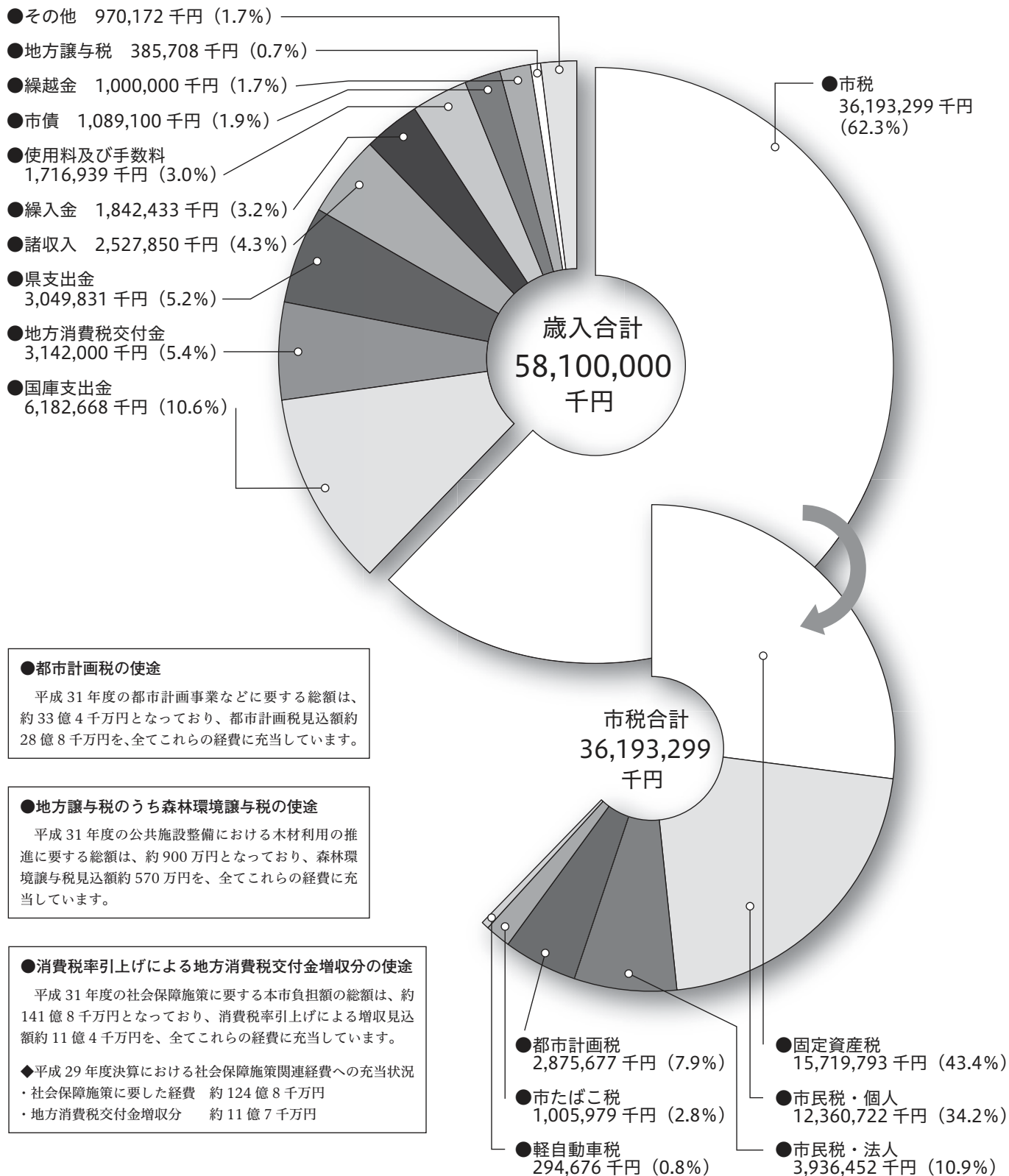
	昭和55年度	昭和60年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	平成31年度
人口 (4月1日現在)	104,615	110,643	118,267	124,625	131,140	139,994	145,245	148,419	151,981
世帯数 (4月1日現在)	34,601	36,949	40,922	44,761	48,569	54,659	60,140	62,409	66,199

※昭和55年度以降の5年毎の額と平成31年度の額を表記しています。

一般会計の状況

歳入

歳入の根幹である市税は、361億9,329万9千円で前年度当初予算額と比較して1.0%の増を見込んでいます。歳入全体に占める割合は、62.3%です。基金等からの繰入金18億4,243万3千円は、公共施設維持保全基金や都市交通施設整備基金、財政調整基金などを活用しています。市債10億8,910万円は、住吉幼稚園移転新築事業などの財源とします。



●都市計画税の用途
 平成31年度の都市計画事業などに要する総額は、約33億4千万円となっており、都市計画税見込額約28億8千万円を、全てこれらの経費に充当しています。

●地方譲与税のうち森林環境譲与税の用途
 平成31年度の公共施設整備における木材利用の推進に要する総額は、約900万円となっており、森林環境譲与税見込額約570万円を、全てこれらの経費に充当しています。

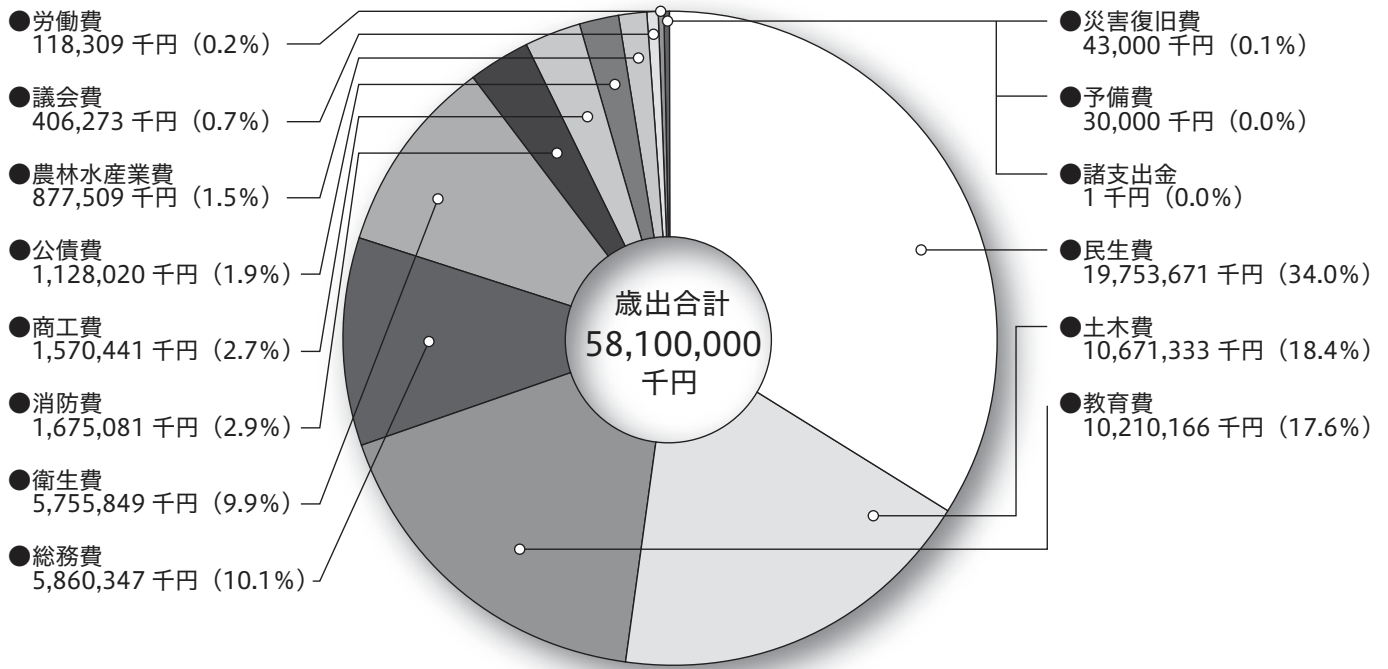
●消費税率上げによる地方消費税交付金増収分の用途
 平成31年度の社会保障施策に要する本市負担額の総額は、約141億8千万円となっており、消費税率上げによる増収見込額約11億4千万円を、全てこれらの経費に充当しています。
 ◆平成29年度決算における社会保障施策関連経費への充当状況
 ・社会保障施策に要した経費 約124億8千万円
 ・地方消費税交付金増収分 約11億7千万円

歳出

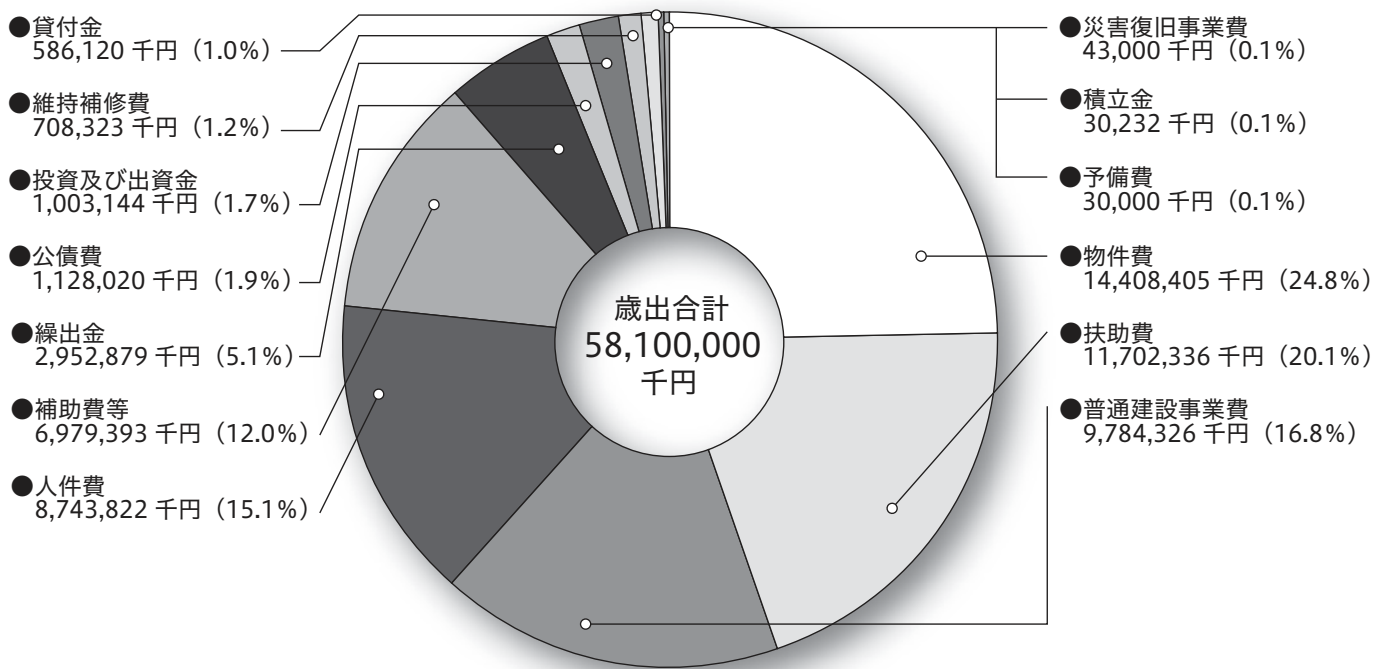
歳出の構成比で最も大きな割合を占めているのは、34.0%の民生費 197 億 5,367 万 1 千円です。その主なものは、児童手当支給事業や民間保育所運営支援事業などです。次に、土木費 18.4%、106 億 7,133 万 3 千円です。そして教育費の 17.6%、102 億 1,016 万 6 千円と続きます。

なお、歳出に占める普通建設事業費などの投資的経費の割合は、16.9%です。

●目的別内訳



●性質別内訳



都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

新 JR刈谷駅総合改善事業

30,288 千円

JR 刈谷駅の通勤・通学時におけるホームなどの混雑を解消し、安全性の確保及び利便性の向上を図るため、駅改良に向けた支障移転などを行います。



JR 刈谷駅 (イメージ)

都市交通計画調査推進事業

36,691 千円

“ひと”と“環境”にやさしく持続可能な都市交通体系構築のため、交通の円滑化を目指した道路計画、公共交通計画及び移動手段の適正化を推進します。

- 幹線道路概略設計及び交通量調査
- 都市交通戦略中間改定検討
- 刈谷駅周辺における駐車場及び自転車駐車場の需要予測や配置の検討など

公共施設連絡バス運行管理事業

346,406 千円

公共施設などの利便性向上、渋滞緩和及び環境負荷低減を図るため、公共施設連絡バスを運行します。また、4月1日から愛称を「かりまる」とし、路線の一部見直し及びダイヤ改正を実施します。

泉田中央広場整備事業

11,202 千円

子どもの遊び場、高齢者の健康増進の場、地域住民の憩いの場として施設の充実を図るため、泉田町に広場を整備します。

- 面積 約 1,800㎡

刈谷駅北地区整備事業

211,253 千円

多彩な駅前機能の充実を図り、活気と賑わいの創出、まちなか居住を促進するため、市有地を活用し、商業施設や住宅などが複合した施設を整備する民間事業者に対して支援します。

- 地区面積 約 0.3ha
- 延床面積 約 14,300㎡ (20 階建て)
- 主な用途 商業施設、業務施設、公共施設、住宅、駐車場
- 事業箇所 桜町



外観 (イメージ)

銀座A B地区整備事業

240,000 千円

中心市街地としてふさわしい土地の高度有効利用を図るため、商業施設や社会福祉施設などが複合した施設を整備する民間事業者に対して支援します。

- 地区面積 約 0.67ha
- 延床面積 約 16,600㎡ (28 階建て)
- 主な用途 商業施設、社会福祉施設、住宅、駐車場
- 事業箇所 銀座ほか

刈谷市駅前市街地再開発事業

18,000 千円

まちなか居住の積極的な促進と機能的で利便性の高い拠点形成のため、市街地再開発などによる都市基盤を再生・整備することにより、景観にも配慮した快適な都市空間を創出します。

- 基本計画の作成及び道路線形の検討
- 地区面積 約 3ha
- 事業箇所 広小路ほか

人と環境の共生する持続可能な低炭素社会や循環型社会の形成に配慮し、快適な都市空間の整備を進めることにより、生活の質を維持・向上させることを目指し、都市と自然が共存した魅力ある住みよいまちづくりを進めます。

市道01-4号線他道路新設改良事業 (刈谷南北縦貫道路)

605,948 千円

歩行者の安全と円滑な交通を確保するため、既存道路の拡幅整備や、県道岡崎豊明線から主要地方道名古屋岡崎線までの道路整備を行います。

- 道路新設改良工事（県道岡崎豊明線以北）
延長 350 m、幅員 15 m
- 交差点改良工事（今川町交差点）
延長 110 m、幅員 19 m
- 事業箇所 西境町ほか

市道01-41号線他道路新設改良事業

690,401 千円

産業の生産性向上、交通渋滞の緩和、周辺地域の活性化、観光振興や防災機能の強化を図るため、スマートインターチェンジの整備に合わせた道路整備を行います。

- 総事業費 864,421 千円
(31年度 690,401 千円)
(32年度 174,020 千円)
- 道路新設改良工事 5箇所 延長 1,050 m、
幅員 7.0 ~ 13.8 m
- 橋りょう工事 1橋 延長 59 m、幅員 12.4 m
- 事業箇所 東境町

新 伊勢山公園整備事業

60,255 千円

良好な生活環境を提供するため、刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業により創出された用地に、公園を整備します。

- 面積 約 3,100㎡



伊勢山公園（イメージ）

青山斎園大規模改造事業

140,606 千円

施設の保全及び利便性の向上を図るため、老朽化した火葬場の機能回復及びせい山閣の改修を行います。

- 火葬場大規模改造工事
- せい山閣シャワー室設置工事
- せい山閣トイレ改修工事

市道01-40号線他道路新設改良事業 (刈谷南北縦貫道路)

446,416 千円

慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制するため、バイパス機能を持った幹線道路を整備します。

- J R 調査協定
- 道路新設改良工事 延長 160 m、幅員 22 m
- 橋りょう工事（下部工） 3基
- 事業箇所 逢妻町ほか

都市計画道路7・4・555刈谷駅前線 道路新設改良事業

246,058 千円

刈谷駅北口周辺における自動車交通の円滑化及び安全性の向上を図るとともに、安心で安全な歩行空間を確保し、まちづくりと一体となった新たな賑わい空間を創出するため、刈谷駅北口のシンボルロードづくりを進めます。

- 総事業費 431,000 千円
(30年度 184,942 千円)
(31年度 246,058 千円)
- 道路新設改良工事 延長 250 m、幅員 18 m
- 南北連絡通路延伸工事
- 事業箇所 相生町ほか

住宅用地球温暖化対策設備設置費 補助事業

55,500 千円

地球温暖化対策の一環として、市民が行う創・省・蓄エネルギーの取組を積極的に支援するため、蓄電システムや充電システムなど住宅用地球温暖化対策設備の設置費の一部を補助します。

- 補助額
- (1) 太陽光発電システム* 上限 20 万円
- (2) エネファーム 10 万円
- (3) HEMS 上限 2 万円
- (4) 蓄電システム 上限 10 万円
- (5) 充電システム 上限 5 万円
- (6) 太陽熱利用システム
- ア 自然循環型 2 万 5 千円
- イ 強制循環型・空気集熱型 5 万円

※10月から、太陽光発電システムは単体補助から一体的導入補助へ切り替えます。

- ア (1) + (3) + (4) 上限 32 万円
- イ (1) + (3) + (5) 上限 27 万円

生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

歴史博物館企画展開催事業

28,400 千円

歴史や文化財に触れる機会を提供するため、企画展を開催し、刈谷やその周辺の地域の歴史を紹介するほか、さまざまな歴史資料を展示します。

- 初代刈谷藩主・水野勝成展
(1) 事業費 8,565 千円
(2) 会期 3月24日～5月19日
- 「はこぶ」ものたち展
(1) 事業費 3,846 千円
(2) 会期 7月23日～9月1日
- 中条遺跡展
(1) 事業費 9,370 千円
(2) 会期 9月7日～11月4日
- 豊田佐吉・喜一郎展
(1) 事業費 6,619 千円
(2) 会期 12月14日～2月9日



初代刈谷藩主・水野勝成展
裏永楽銭紋黒熊毛二枚胴具足
(福山市賢忠寺蔵)

学校司書配置事業

3,287 千円

学校図書館の機能を充実させ、児童・生徒の読書量の向上を図るため、読書活動の支援を行う学校司書を6中学校すべてに1人ずつ配置し、それぞれの中学校区の小学校を巡回します。

- 資料を選択・収集・提供する際の援助や助言
- 学校図書館等への掲示物の作成
- 図書館ボランティアの指導



学校司書による国語の授業風景

双葉小学校大規模改造事業

59,493 千円

老朽化した校舎機能を回復し、教育環境の変化に適合させるため、南校舎の大規模な改修を行います。

- 内装工事

夢と学びの科学体験館 特別企画展開催事業

22,500 千円

子どもたちを中心に広く科学の楽しさに触れる機会を創出し、次代を担う人材を育成するため、春、夏、冬の学校などの長期休業期間を中心に、科学などに関連した体験展示や魅力的なプラネタリウム番組の投映などを行います。



確かな学力の定着と豊かな人間性の育成を目指し、家庭、地域との連携を深め、特色のある学校づくりを進めるとともに、学習する意欲と能力を養い、低年齢から生涯にわたって学習できる生涯学習都市づくりを進めます。

(仮称) 野田市民館整備事業

217,900 千円

市民館を拠点とした地域住民のコミュニティ活動及び生涯学習の活性化を推進するため、野田地区に市民館を整備します。

■延床面積 436.95㎡



外観 (イメージ)

刈谷球場電光掲示板改修事業

150,000 千円

市民のスポーツ需要への対応と健康づくりの推進のため、老朽化した刈谷球場のスコアボードを改修します。



スコアボード (イメージ)

西境市民館大規模改造事業

52,484 千円

施設の長寿命化を図り、安全で快適な施設を維持するため、老朽化した市民館の大規模な改修を行います。

■設備改修工事など

刈谷球場防球ネット改修事業

62,914 千円

場外への飛球を防ぐため、刈谷球場の防球ネットを改修します。



文化振興事業

33,583 千円

優れた文化芸術作品を鑑賞する機会を提供するため、総合文化センターにおいてコンサート、市民大学講座などを開催します。

■主な事業 (開催日は予定)

- (1) 第6回刈谷国際音楽コンクール 8月
- (2) かりやkidsフェスティバル 8月22日～23日
- (3) 大阪フィルハーモニー交響楽団によるコンサート 11月2日
- (4) 市民大学講座 (全4回)



東儀秀樹×古澤巖×c o b a
コンサートツアー 2018
(平成30年度大ホール事業)

美術館企画展開催事業

56,393 千円

質の高い美術品や展示物に触れる機会を提供し、文化の振興を図るため、著名な美術家や絵本作家の展覧会などを開催します。

■土方重巳展

- (1) 事業費 16,468 千円
- (2) 会期 4月20日～6月2日

■久野真展

- (1) 事業費 7,352 千円
- (2) 会期 7月23日～9月1日

■せなけいこ展

- (1) 事業費 32,573 千円
- (2) 会期 9月21日～11月10日

支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

拡 わが家の地震対策事業

96,283 千円

住宅の耐震診断や耐震改修などの費用を補助し、耐震化を促進します。また、通学路や避難道路沿道のブロック塀などの撤去に対する補助を拡充します。

■補助内容 ()内は限度額

- (1) 木造住宅無料耐震診断
- (2) 木造住宅耐震改修費補助 (120 万円)
- (3) 木造住宅段階的耐震改修費補助
 - ア 1 段階目 (60 万円)
 - (ア) 建物全体の総合判定値 0.7 以上
 - (イ) 1 階部分の総合判定値 1.0 以上
 - イ 2 段階目 (60 万円)
 - 建物全体の総合判定値 1.0 以上
- (4) 木造住宅簡易耐震改修費補助 (30 万円)
- (5) 木造住宅撤去費補助 (20 万円)
- (6) 木造住宅耐震シェルター設置費補助 (30 万円)
- (7) 非木造住宅耐震診断費補助
 - ア 戸建 (8 万 6 千円)
 - イ 戸建以外 (120 万円)
- (8) 非木造住宅耐震改修費補助 (500 万円)
- (9) ブロック塀等撤去費補助
 - ア 通学路、避難道路 (15 万円)【拡充】
 - イ その他道路 (10 万円)
- (10) 緊急輸送道路等沿道建築物耐震診断費補助 (180 万円)
- (11) 緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修費等補助 (1,892 万円)
- (12) 避難道路沿道木造住宅耐震改修費補助 (140 万円)
- (13) 避難道路沿道非木造住宅耐震診断費補助
 - ア 戸建 (10 万円)
 - イ 戸建以外 (140 万円)
- (14) 避難道路沿道非木造住宅耐震改修費補助 (600 万円)

防犯対策推進事業

24,996 千円

犯罪発生を抑止し、まちの安全性を高め市民の不安の軽減を図るため、防犯上不安がある場所に防犯灯や街頭防犯カメラを設置します。

■防犯灯設置事業

事業費 4,140 千円

■街頭防犯カメラ設置事業

事業費 20,856 千円

新 避難所マンホールトイレ整備事業

25,080 千円

災害発生時のトイレ不足を解消するとともに、衛生的な環境を確保するため、避難所にマンホールトイレを整備します。

■設置設計

- (1) 日高小学校
- (2) 富士松南小学校
- (3) 雁が音中学校
- (4) 朝日中学校

■整備工事

- (1) 衣浦小学校 4 基
- (2) 刈谷南中学校 9 基



新 特設公衆電話整備事業

86 千円

大規模災害発生時に被災者の通信手段を迅速かつ確実に確保するため、特設公衆電話用電話機を購入して避難所に配備します。

■購入台数 31 台

消防団員活動支援事業

750 千円

平成 29 年 3 月 12 日以降に普通免許を取得し、現存する消防団車両を運転することができない消防団員に、準中型免許の取得費用の一部を補助します。

■補助率 5 分の 4

■限度額 15 万円

橋りょう補強事業

48,600 千円

地震発生後に市民が安全に避難できる経路を確保するため、避難道路に架かる橋りょうの耐震化を促進します。

■橋りょう耐震補強詳細設計

弘法橋はじめ 2 橋

■橋りょう耐震補強工事

吹戸橋はじめ 3 橋

行政と市民、事業者、大学などが協力・連携し、より良い保健・福祉サービスの維持・向上を図るとともに、災害や犯罪、交通事故などに対する安全性を高めることにより、みんなで支えあいながら、住みなれた地域で心豊かに安心して暮らせるまちづくりを進めます。

拡 公立幼稚園預かり保育事業

25,104 千円

幼児の健やかな成長を促すとともに、子育て中の保護者を支援するため、新たに5幼稚園において、預かり保育の時間を拡充します。

■対象幼稚園 井ヶ谷幼稚園、日高幼稚園、双葉幼稚園、小垣江幼稚園、小垣江東幼稚園

■実施時間

(1) 平日

- ア 午前7時30分～午前8時40分
- イ 保育終了後～午後4時30分
- ウ 午後4時30分～午後6時30分

(2) 長期休業期間

- ア 午前7時30分～午前8時40分
- イ 午前8時40分～午後0時30分
- ウ 午後0時30分～午後4時30分
- エ 午後4時30分～午後6時30分

■利用料金 各時間帯 200 円



新 はいかい高齢者個人賠償責任保険事業

200 千円

認知症などによるはいかいにより鉄道事故などを起こす可能性がある高齢者及び家族の損害賠償の負担軽減を図るため、刈谷市行方不明高齢者等SOSネットワークに登録した人のうち、保険加入希望者を対象に、市が一括して高齢者個人賠償責任保険に加入します。



はいかい高齢者搜索模擬訓練の様子

拡 民間保育所運営支援事業

413,580 千円

待機児童の解消を図るため、新規に建設される民間保育所に対して建設費などを補助します。

■建設予定園

- (1) (仮称) 城のうさぎ保育園 (銀座)
- (2) (仮称) 小垣江弁天保育園 (小垣江町)

新 骨髓提供者等助成事業

420 千円

骨髓を提供しやすい環境を整備するため、市内に住所を有する骨髓提供者及び提供者が勤務する事業所に対して、助成金を交付します。

■助成額 (1回につき7日を限度)

- (1) 提供者 1日につき2万円
- (2) 事業所 1日につき1万円

新 産後ケア事業

1,040 千円

母親の身体的な回復と心理的な安定を促進し、安心して育児ができるよう、産後の体調や育児に不安がある産婦と乳児を対象に、医療機関に宿泊し、身体的及び心理的ケアや保健指導を受けられるよう支援します。

■実施場所 委託契約をした産科医療機関

■利用料 1日4,000円 (最長7日間)

■対象者 出産後4カ月未満の産婦と乳児

拡 予防接種事業

4,262 千円

難聴などの後遺症を防ぐため、新たにおたふくかぜの予防接種に対する費用を助成します。

■対象者

- (1) 平成30年4月1日以降に生まれた1歳から2歳未満児
- (2) 平成25年4月2日以降に生まれた年長児

■助成額 接種1回につき2,000円

拡 健康診査事業

4,082 千円

継続した口腔衛生の保持増進と、かかりつけ医を持つことの推進を図るため、30歳から75歳の5歳刻みで実施していた歯科健康診査に、新たに20歳と25歳を追加します。また、口腔機能低下の早期発見のため、75歳を後期高齢者歯科口腔機能健康診査に移行します。

■実施場所 市内指定歯科医療機関

■自己負担額 無料

人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

ものづくりによって培ってきた高い技術と能力の蓄積を有効にいかしつつ、農業、商業、工業とバランスの取れた産業の振興を図り、誰もが笑顔で働き続けることのできる賑わいのある明るいまちづくりを進めます。

新 高専ロボコン2019東海北陸地区大会開催事業

1,140 千円

「ものづくりのまち刈谷」をアピールするとともに、次代を担う子どもたちの人材育成を図るため、「アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト 2019 東海北陸地区大会」を開催します。

■開催日 10月20日

■場所 ウィングアリーナ刈谷



アイデア対決・全国高等専門学校
ロボットコンテスト 2018

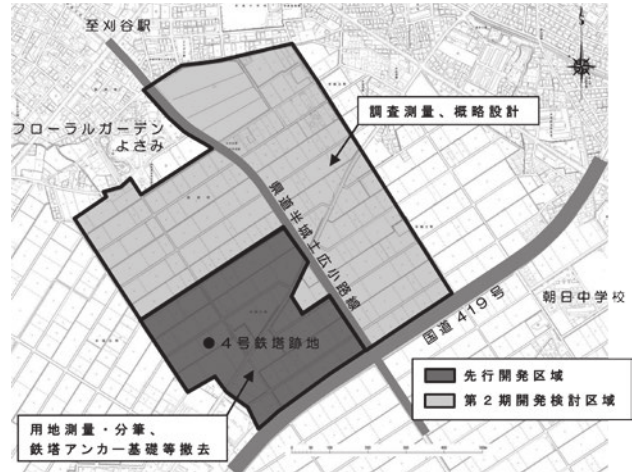
企業立地推進事業

53,000 千円

刈谷依佐美地区において、周辺の優良農地との共存を図りながら、新たな産業集積を促す一団の工業用地を整備します。

■先行開発区域の事業推進

■第2期開発検討区域における調査検討



拡 農畜産物特産化補助事業

825 千円

市内で生産される農畜産物の生産、消費拡大及び特産化の推進を図るとともに、肥料や栽培方法の検討と試作展示畑の設置を行います。

■スイカの新品種の栽培

商業団体事業費補助事業

18,009 千円

商業団体が経営の合理化や販路の開拓を図り、商業の活性化のために行う各種事業にかかる費用の一部を補助します。



カリアンナイト

拡 農業用機械等導入支援事業

2,000 千円

経営改善や農業技術の向上のために必要な費用の一部を補助します。

また、IoT及びドローンなど先進技術の導入や、農地における盗難対策を目的とした防犯カメラなどの設置にかかる補助を拡充します。

■対象者 認定農業者、認定新規就農者

■対象事業

- (1) 利用機械整備事業
- (2) 利用施設整備事業
- (3) 盗難対策事業



市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

市民と行政の双方向によるまちの環境を整備することにより、市民と行政の信頼関係を深め、豊かで魅力あるまちの実現に向けて協働できるまちづくりを進めます。

新 日本女性会議開催事業

5,803 千円

男女共同参画社会の実現に向けた国内最大級の会議である「日本女性会議2020あいち刈谷」の開催に向け、市民の男女共同参画に対する意識啓発を図るため、実行委員会が実施するPRイベントなどに対して補助を行います。

- 「日本女性会議 2019 さの」における刈谷大会のPR
- 「日本女性会議 2020 あいち刈谷」プレイベントの開催
 - (1)シンポジウム・プレ分科会の開催
 - (2)男女共同参画啓発展示



拡 刈谷の魅力発信事業

1,325 千円

利用者の利便性向上を図るとともに、市の魅力を効果的に情報発信するため、公共施設に無料公衆無線LAN（無料Wi-Fi）環境を整備します。

- 設置場所
 - (1)ウイングアリーナ刈谷
 - (2)夢と学びの科学体験館
 - (3)交通児童遊園



第8次刈谷市総合計画策定事業

7,218 千円

市の現状や特性を踏まえ、社会経済情勢や市民ニーズの変化などを反映し、新たなまちづくりの指針となる第8次刈谷市総合計画を策定します。

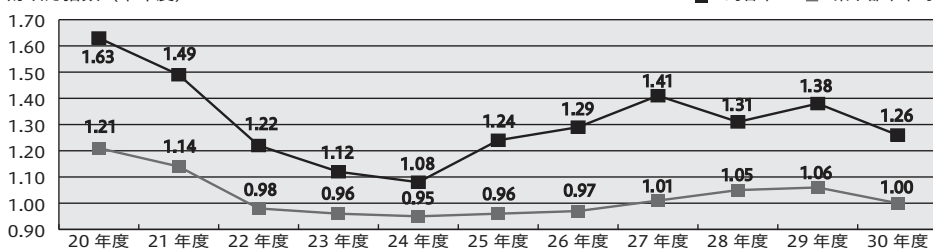
- 策定期間 平成30年度より3年間

主な財政指標の推移

(1) 財政力指数

地方公共団体の財政上の能力を示す指数で、1を超えるほど財政に余裕があります。

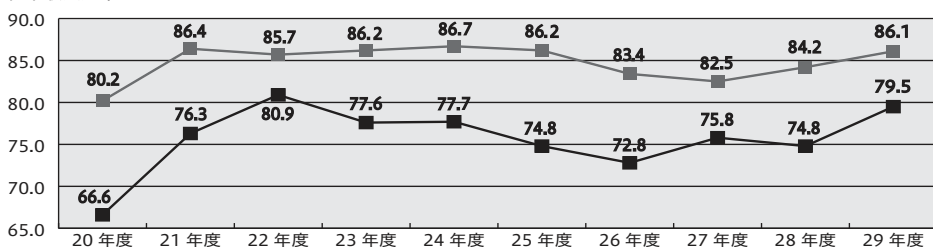
財政力指数（単年度）



(2) 経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾性を測る指標で、人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に市税などの一般財源がどの程度充てられているかをみるもので、この比率が増加すると財政運営は硬直化します。

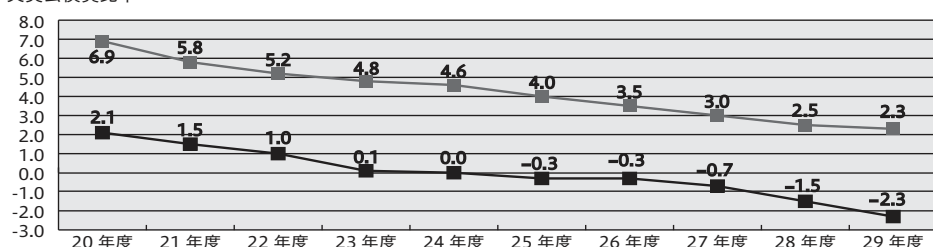
経常収支比率



(3) 実質公債費比率

一般会計や特別会計、企業会計の公債費に広域連合や一部事務組合における公債費を加えた実質的な公債費が、財政に及ぼす負担割合を直近の決算年度を含めた3年平均で表した指標で、この比率が低いほど財政が健全であるといえます。

実質公債費比率



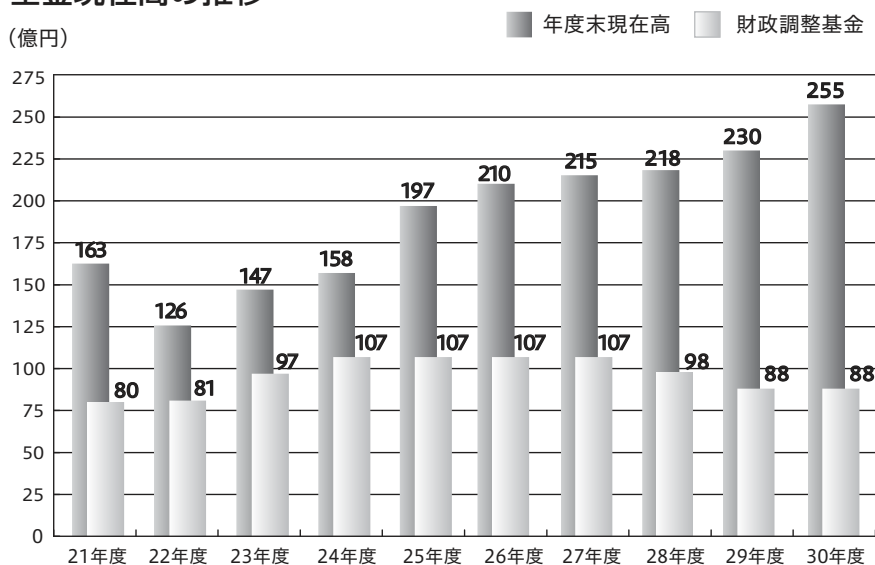
基金の状況

基金の現在高は、平成30年度末現在で、約255億1,200万円です。その内訳は、財政調整基金（約87億7,700万円）、都市交通施設整備基金（約67億4,000万円）、公共施設維持保全基金（約61億3,200万円）、亀城公園等整備基金（約16億2,300万円）が主なものです。

(単位：百万円)

基金現在高の推移

(億円)



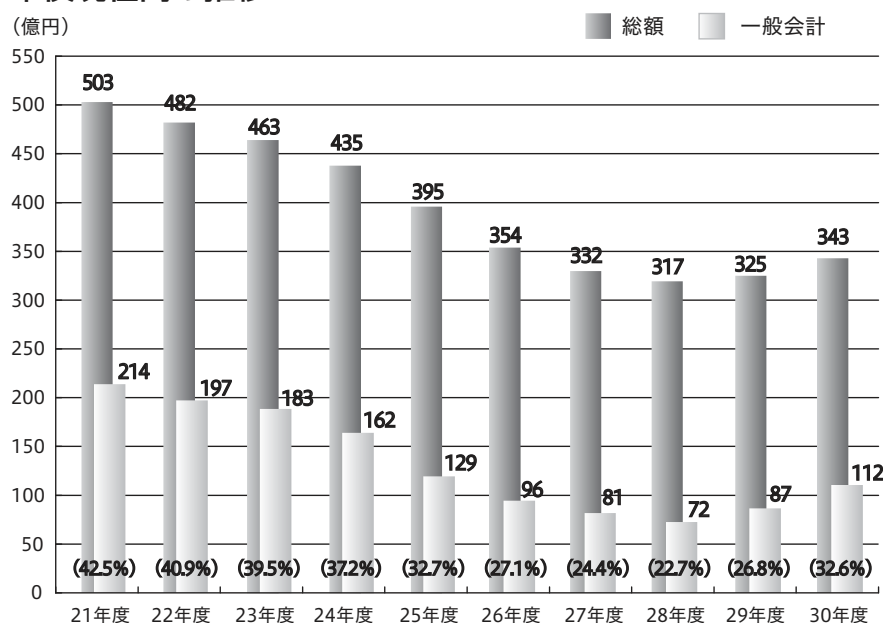
基金名	現在高
財政調整基金	8,777
国際交流振興基金	226
美術品等購入基金	594
地域福祉基金	273
国民健康保険基金	269
介護保険基金	535
緑化推進基金	318
市民活動支援基金	15
亀城公園等整備基金	1,623
公共施設維持保全基金	6,132
一般旅券収入印紙購入基金	10
都市交通施設整備基金	6,740
合計	25,512

市債の状況

市債の現在高は、平成30年度末現在（見込み）で、約342億9,200万円です。そのうち、一般会計は、約111億8,500万円で32.6%を占めています。企業会計では、下水道整備の進展により下水道事業会計が大きな割合を占めています。

市債現在高の推移

(億円)

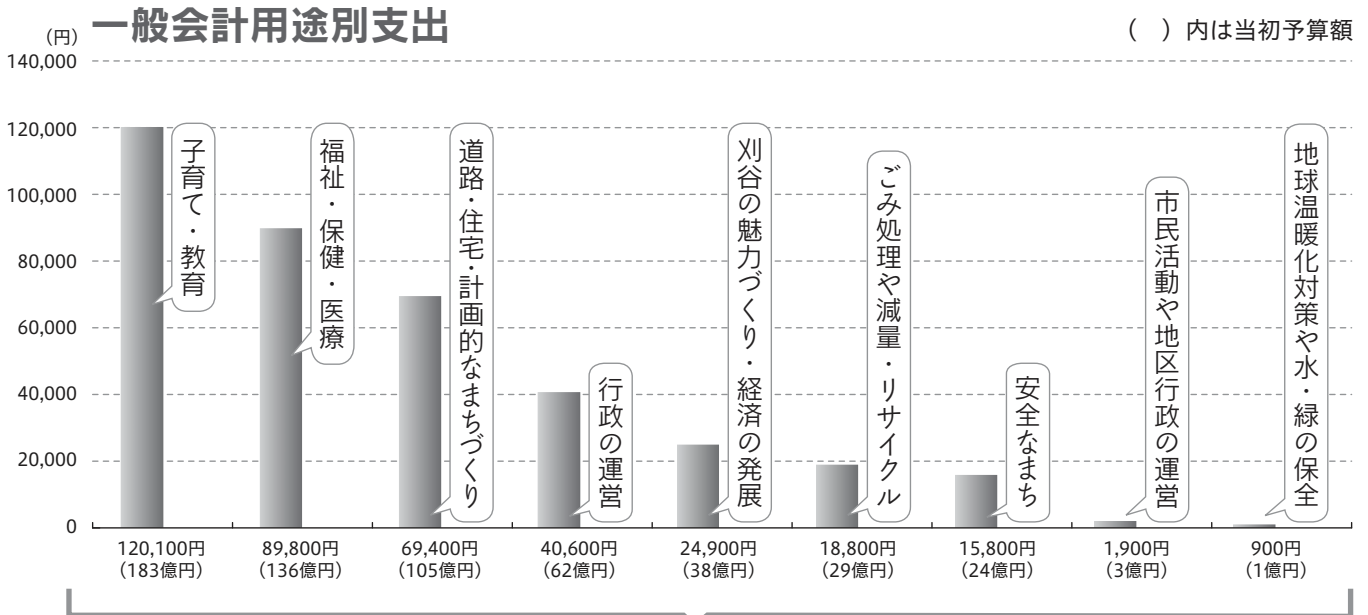


(単位：百万円)

会計名	現在高
一般会計	11,185
特別会計	139
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	139
企業会計	22,968
水道事業会計	2,316
下水道事業会計	20,652
合計	34,292

市民 1 人当たりの予算額（用途別）

刈谷市の平成 31 年度予算総額 581 億円を、市民 1 人当たり（平成 31 年 4 月 1 日現在の人口 151,981 人）に換算すると 382,200 円となります。これは、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな目的の用途に使用されています。用途の中で最も多いものが、子育て・教育分野で 120,100 円、次に福祉・保健・医療分野に 89,800 円、そして、道路・住宅・計画的なまちづくり分野に 69,400 円の順となっています。なお、金額は端数を調整しています。



市民 1 人当たりに使われる予算額 **382,200** 円 一般会計予算額 **581** 億円

刈谷市の家計簿

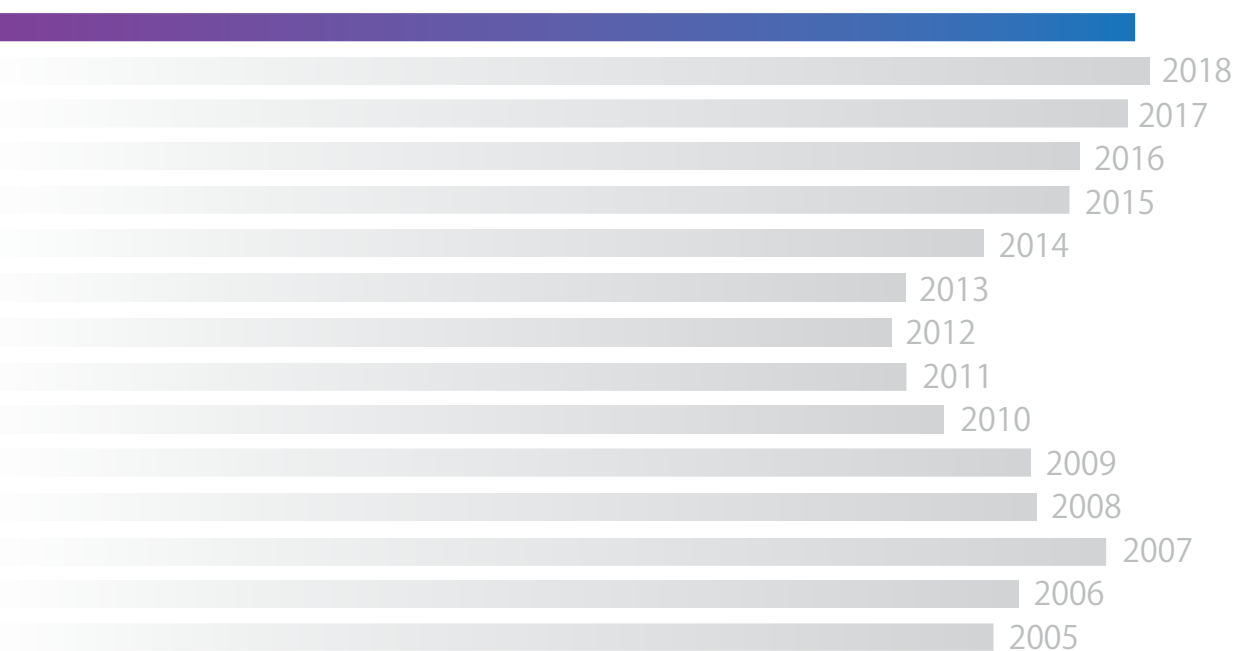
刈谷市の平成 31 年度一般会計当初予算を、年収 500 万円（月収 41 万 6,000 円）のご家庭に例えて、1 カ月の家計簿を作成しました。

刈谷市の 1 カ月の家計簿

収入		支出	
給与	291,000 円	食費（人件費）	63,000 円
基本給（市税）	260,000 円	医療費、保育料など（扶助費）	94,000 円
諸手当（地方譲与税、県税交付金など）	31,000 円	家のローン返済（公債費）	8,000 円
家の修繕代の助成金、奨学金など（国県支出金）	66,000 円	家財道具の買替え、家の修繕費など（施設等整備費、維持補修費）	93,000 円
パート収入、家財の売却による収入など（使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入）	51,000 円	光熱水費、日用品、教育費など（行政運営費）	130,000 円
家の修繕や車の買替えのための銀行からの借金（市債）	8,000 円	1 人暮らしの家族への仕送り（繰出金）	28,000 円
合計	416,000 円	合計	416,000 円

家族の医療費（高齢者・児童福祉などの扶助費）、ローンの返済（公債費）、食費（人件費）の 3 つは、「義務的経費」と呼ばれています。この「義務的経費」が多いことは、一般家庭のエンゲル係数（家計における食費の占める割合）が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。刈谷市の歳出総額に占める義務的経費の割合は約 4 割であり、県内市町村の平均割合約 5 割と比較すると低く、健全な財政であることを示しています。

OUTLINE OF BUDGET 2019



- この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。
- この印刷物はAランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。